

## 学校長挨拶

西東京市立芝久保小学校 校長 清原 周栄

一人一人の児童を全教職員で担任（チーム芝久保）し、

児童が自分の大好きを見つけられる学校づくりを目指して

令和8年度がスタートしました。私は、令和8年4月1日付で校長として着任いたしました清原 周栄（きはら しゅうえい）と申します。前任の小林 宏 校長先生をはじめ、諸先輩方、保護者の皆様、地域の皆様が育ててきた芝久保小学校の伝統を引き継ぐとともに、さらに充実させていくことができるよう取り組んでまいります。子どもたちにとって、今年度が充実した楽しい1年間になるよう、また、芝久保小学校の学校教育目標「粘



り強く考える子」、「仲良くする子」、「元気に活動する子」の達成に向けて、教職員一同、『チーム芝久保』一丸となって、日々の教育活動に全力を尽くします。また、「一人一人の児童を全教職員で担任（チーム芝久保）し、児童が自分の大好きを見つけられる学校」を掲げ、教育活動を進めてまいります。前段の「一人一人の児童を全教職員で担任（チーム芝久保）し」には、すべての教職員が当事者意識をもち、学級や学年の枠を越えて子どもたちの成長を支えていくという思いを込めております。本校の子どもたちを、学校全体で見守り、育てていく。そのような学校でありたいと考えています。後段の「児童が自分の大好きを見つけられる学校」とは、子どもたちが日々の学びや友達との関わり、様々な体験の中で、自分の興味や関心に出会い「好き」という気持ちを育てていく学校です。そして、その「好き」が、やがて「もっと知りたい」「もっとやってみたい」という「大好き」な学びへと広がり、子どもたちの力となっていくことを大切にしたいと考えています。好きなことに出会い、挑戦を重ねる中で、子どもたちは少しずつ自信をもち、自分の得意なことを見つけていきます。その積み重ねは、自分の良さや可能性に気づき、自分自身を大切に思う心、自己肯定感や自己有用感の育成へとつながっていくと信じています。

この考え方を表す言葉に、「桜梅桃李（おうばいとうり）」があります。桜は桜として、梅は梅として、桃は桃として、李は李として、それぞれが美しい花を咲かせます。他の花と比べるのではなく、それぞれが自分らしく花を咲かせることに価値があるという意味です。子どもたちもまた、一人一人がかけがえのない存在であり、それぞれに良さや可能性があります。子どもたちが自分の良さや可能性に気づき、自信をもって成長していけるよう一人一人の児童を全教職員で見守り、支えていく学校を目指し、教職員一同力を合わせて教育活動を進めてまいります。子どもたちが「学校が楽しい」「学ぶことがうれしい」と感じながら日々成長していけるよう努めてまいります。

さらに、本校は、コミュニティ・スクールとして学校運営協議会を設置し、4年目を迎えました。これまで、学校運営協議会委員の皆様、育成会や見守り隊、芝生の会の皆様、学校支援ボランティア等の地域の皆様、保護者の皆様等におかれましては、子どもたちの学習・生活環境の整備や安全の確保、学校行事等へのご理解やご支援、学校評価へのご協力をいただいているところです。あらためまして、深く感謝申し上げます。

今年度も、子どもたちに、地域への愛着や、地域社会に参加・参画する態度を育むとともに、持続可能な社会の形成者として自ら未来を創造する資質・能力や態度を育てていきたいと思っております。昨年度と同様に、保護者の皆様、地域の皆様も『チーム芝久保』の一員として、本校への一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。